

「これからの鎌倉の図書館にのぞむ市民の提言」参考資料 その3

基本情報		多摩市立中央図書館	ゆいの森あらかわ	鎌倉市中央図書館
1	開設年月日	2023(令和5)年7月1日	2017(平成29)年3月26日	1974(昭和49)年10月
2	人口	147,652人	219,465人	171,081人
3	市域	21.01平方キロメートル	10.16平方キロメートル	39.66平方キロメートル
4	運営体制	直営 1中央図書館 7地域館	直営 1中央図書館 4地域館 2サービスステーション(令和3年2月 尾久図書館(地域館)開館)	直営 1中央図書館 4地域館
5	地域規制	■第2種住宅地域	■準工業地域 ■最低限高度地区(建築物の高さの最低限度 7m)	■第1種中高層住居専用地域 ■準防火地域
6	敷地面積	4,273.31 m ²	4,110.88m ²	1,395.60m ²
7	延床面積	5,437.47 m ²	10,943.74m ²	2,576m ²
8	階層	地上2階・地下2階の4階層	地上5階・地下1階	地上3階・地下1階
9	建物構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	■免震構造 ■鉄筋コンクリート造 ■CUBEを積み重ねた設計(周辺に調和したレンガ調) ■吹き抜けて上下階をつなぎ中心部にベンチスペースを配置(消防法上吹き抜けは必要だが、吹き抜けをずらすことの防音効果) ■ゆいの森ホールは講演会などで活用し、ないときは閲覧スペースになる。	鉄筋コンクリート造
10	総工費	45億円	90億円 (用地取得費16億円、設計等に3億円、建設工事費63億円、図書資料・備品購入費等8億円)	2億9千万円
11	交付金・補助金	■ZEB補助金:1億円 ■都補助金:1.1億円(バリアフリー関係、太陽光発電システムなど) ■地方債:26億円 ■都市計画基金:11億円 ■一般財源:約6億円	■社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)【国】8億3420万円(平成24年度～平成28年度)➡再開発、電線地中化 ■子ども・子育て支援交付金【国・都】266万円(平成28年度～平成29年度)➡遊びラウンジ整備、居場所事業整備、ポーネルド ■区債 38億1700万円(cf. 令和5年度一般会計予算額1133億円)	■国4,500万円 ■県5,500万円
設備		多摩市立中央図書館	ゆいの森あらかわ	鎌倉市中央図書館
12	座席数	440席	933席	118席

13	ユニバーサルデザイン	<p>■「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」「東京都福祉のまちづくり条例」「多摩市福祉のまちづくり整備要綱・整備指針」に則り整備し、誰もが利用しやすい図書館を目指す。 ■ 特に永山図書館同様に視覚障がい者サービスの拠点として新たに位置づけ、録音室と朗読室の整備や専用パソコンの設置、点字図書等の関係資料を配架する。 ■ 視覚障がい者への対応・敷地境界やエレベーターから、メインカウンターやトイレ、障がい者サービスエリアに至るまでのルートに点字ブロックを設置し、視覚障がい者が可能な限り自身で移動できるように配慮する。 ■ 車いす等への対応・建物内の通路幅を広く確保。特に、書架の間隔は車いす利用者と人がすれ違える幅を確保。 ■ 施設内には車いす利用者も利用可能なエレベーターと駐車場を整備。 ■ 車いす利用者用に天板に昇降機能が付いている閲覧席を1階・2階に各2席整備。 ■ メインカウンター、サテライトカウンターの一部を車いす対応の高さにする。 ■ 子どもへの対応・子ども開架エリアに、親子トイレと授乳室を整備。授乳室には、流し台一体型の調乳用温水器を設置する計画。</p>	<p>■各階に用途の異なるバリアフリートイレの設置(1,2階は紙おむつとおむつ処理機を設置 3,4階はオストメイトを設置 各シンクに手洗い乾燥器設置) ■館内表示にピクトグラムを採用 ■床面の段差を少なくし、段差の低い階段や高さの低い手すりの使用 ■エレベーター内に車イスでの移動がしやすいよう鏡の設置 ■エスカレーター ■フラットな床 ■対面音訳室 ■読書拡大器 ■録音室 ■ベビーステーション ■託児室 ■AED ■ブックディテクションゲートの幅を広げている ■本棚と本棚の間(90cm Wバギーが通れる幅) ■点字ブロック ■自動ドア ■難聴者補聴設備(ヒアリングループ)</p>	<p>■録音図書等郵送貸出 ■図書等郵送貸出 ■館内でのサービス「よむべえ」「拡大読書器」等設置 ■施設についての記載なし</p>
14	防災	<p>■災害時は多摩センターエリアの帰宅困難者の一時滞在施設の役割も担う。 ■災害時の帰宅困難者の受け入れを想定したスペースと備蓄用倉庫を整備し、停電時に必要な電力確保のために太陽光発電と電気自動車を活用したEVパワーコンディショナシステムの導入を計画。 ■帰宅困難者の受け入れスペースは2階北側のランニングコモンズエリア及び市民活動室で、最大169名の帰宅困難者を受け入れられる。 ■備蓄用倉庫は地下2階に整備し、帰宅困難者1日分の非常食や水を常備する。 ■EVパワーコンディショナシステムは、通常時は太陽光発電でつくった電気を館内で利用する他、EVパワーコンディショナシステムを通じて電気自動車の蓄電池に充電することで、電気自動車の電力として消費する。 ■災害による停電時は、充電された電気自動車の蓄電池から図書館内に給電し、館内の停電時滞在エリアやトイレの照明、テレビ、携帯電話の充電などに活用。 ■停電時昼間には、太陽光発電の電気を電気自動車に蓄電することも可能。</p>	<p>■災害時の防災拠点であり、乳幼児、妊産婦を中心とした避難所として活用 ■発電機、蓄電池の設置 ■備蓄庫設置 ■隣地のゆいの森芝生ひろばにはマンホールトイレ、防火水槽の整備 ■乳幼児用紙おむつ容器 ■冷水機 ■発災直後からこころのケア等、様々な課題に沿った本の提供体制を準備</p>	<p>■災害時の防災拠点ではない。</p>
15	昇降	<p>エレベーター ステッププラザ(大階段) エスカレーター 階段 バックヤード用エレベーターと階段</p>	<p>エレベーター エスカレーター 階段 バックヤード用エレベーターと階段</p>	<p>エレベーター 階段</p>
16	駐車場	<p>障害者用3台、公務用 一般はパルテノン多摩の駐車場を利用(有料)</p>	<p>12台(最初の30分無料、以降30分ごとに200円/障害者手帳などの提示で駐車料金免除)</p>	<p>3台(無料)</p>

17	冷暖房	1,2階の開架閲覧スペースは床吹出空調、小部屋や管理部門は空冷ビル用マルチエアコンです。1階事務室に中央監視装置とビル用マルチエアコンの集中コントローラーを設置し、全館の一元管理を行っています。	冷暖房ともに床から吹き出す仕組み。館内の空気は全体空調と個別空調に分かれており、利用者エリアは主に全体空調が用いられている。全体空調は中央監視システムで一括管理されており、屋上に設置されている熱源機で外気を冷やし(温め)、さらに各フロアの機械室や天井内に設置されている機器で調整された冷気(暖気)を、壁に伝わせ、床の吹き出し口から空調する仕組みとなっている。個別空調は会議室や事務室等で用いられており、家庭用のエアコンとほとんど同じ仕組み。	全館個別空調
サービス		多摩市立中央図書館	ゆいの森あらかわ	鎌倉市中央図書館
18	開館日・時間	9時30分～20時 (休 第一、第三木曜日(祝日の場合は開館)・年末年始・特別整理期間)	9時～20時30分(休 第3木曜日 年末年始・特別整理期間 メンテナンス休館日)	火水土日祝 9時30分～18時 木金 9時30分～19時 (休 毎週月曜日 月曜日が祝日の場合翌営業日 年末年始・特別整理期間)
19	蔵書数	383,138冊	蔵書冊数413,144冊 視聴覚資料14,373点(令和5年3月31日現在)	蔵書数 約282,736(郷土資料28,314・AV資料14,214含む)
20	職員構成	令和5年4月1日現在の数です。事務職と司書職の区別はありません。また非常勤のうち補助スタッフは司書資格の有無を問わないため不明。常勤職員 29人 内司書資格有 22人 非常勤(専門スタッフ)14人 内司書資格あり 14人 非常勤(補助スタッフ)10.2人(年間1500時間を1人として換算)	■職員数 84名 常勤職員数 20名 会計年度任用職員数 64名(司書(有資格)38名 学芸員(有資格)4名 保育士(有資格)8名 総合受付専門員7名 活動推進員5名 事務2名)	■館長正規1名 総務担当正規2名 事務補助会計年度任用2名 資料サービス担当正規5名 + 再任用1名 会計年度任用13名 近代史資料担当1名(資料サービス担当と兼務)
21	システム	clis400(サン・データセンター)	(株)サンデータセンター統合図書館システム シーリス Ver3 (システムの機能要件にJAPAN/MARCの使用可能を入れている)	京セラコミュニケーションシステム(株)製 ELCIELO Ver.3.6.2を使用(年に1回、保守の範囲内でアップデートあり)
22	ICタグ	UHF帯のICタグを使用しています。	なし 自動貸出機のためにバーコード入力	なし
23	その他の機能	中央図書館には公共Wi-Fiを導入しています。	■ノートPC4台 ■全館すべてのフロアに無線LANを完備 ■FREE Wi-Fi ■インターネットで学習席やイベントを簡単予約 ■新聞記事の検索ができるデータベースの提供 ■自動貸出機の設置 ■読書履歴印刷機の設置	令和6年中央図書館のみFREE Wi-Fi導入
24	飲食コーナー・民間施設	■2階ラーニングコモンズ ■カフェ(公募型プロポーザル) ■蓋つきの飲み物はどこでも持ち込み可能 ■自販機あり	■食事は、各階テラス席、2階コミュニティブリッジ、5階コミュニティラウンジで可能 ■1階カフェ(民間運営 ただし館内の本を持って入れる。店内で本の返却も可能) ■蓋つきの飲み物は、どこでも持ち込み可能 ■自販機あり	■食事は1階に数席 ■蓋つきの飲み物は、どこでも持ち込み可能 ■自販機なし
その他		多摩市立中央図書館	ゆいの森あらかわ	鎌倉市中央図書館
25	設置場所(敷地の特徴)	多摩中央公園北西角地	元メッキ工場があり、その廃業にあたって区に打診があった。土壌調査後、買い上げを決定。	昭和41年2月、宮内庁より1,400㎡を取得(元御用邸の職員官舎用地)

26	メンテナンス計画	中央図書館の建物としての維持・保全に関しては、建物を構成する部位や設備等の修繕・改修(メンテナンス)を、基本的には建設後20年を目安とした設備機器の改修と、30年目を目安とした外装や内装の改修になります。なお、このほかにも日常点検や専門業者による定期点検の結果による維持補修や老朽化状況によっては対策工事を個別に実施することも考えられます。	荒川区では、施設の長寿命化のため、各施設において個別施設計画を定め、計画的な改修を実施している。ゆいの森あらかわは、計画内において定期的な点検や予防保全型の改修を前提に、20年周期での大規模改修を計画しており、平成28年度に竣工したゆいの森あらかわは、令和18年度に最初の大規模改修を予定し、竣工80年を迎える令和78年度での建替えを想定している。	図書館による個別計画はなし
27	MARC	TRCマークを主に使っており、TRCマークが無い場合は、国会マークや自館作成しています。	■図書:トーハンマーク ■AV資料(CD/DVD):オリコンマーク ■雑誌:TRCマーク ■南千住図書館開館時の購入資料等にJAPAN/MARCを使用しているため一部でJAPAN/MARCを使用	■現在は、トーハンマークをメインに一部で自館作成マーク、JAPAN/MARCを使用。(2016年までは日販マーク、2017年度からトーハンマークがメインマーク) ■1995年の図書館システム導入時、図書の一部でJAPAN/MARC、AVの一部でNHKマークを使用
28	審議委員会体制	柳田邦男(委員長) 常世田良 教育委員 図書館協議会委員(副委員長) 学びあい育ちあい推進協議会委員 都市計画審議会委員 中学校校長 友の会市民団体(3名)	調査中	図書館協議会で協議中
29	図書館協議会 人数・回数	人数は7名、年5回開催です。	なし	5人 年2~3回
30	協力・関連団体	・庁内の各課と連携しているほか、おはなし団体や障がい者サービスに関する団体、中央図書館の近隣施設(パルテノン多摩や多摩中央公園、近隣民間施設にある書店など)、近隣大学などと連携しています。 ・公共図書館や点字図書館(相互貸借での協力)	■区内図書館では、修理、読み聞かせ、おはなし、布絵本、音訳、ティーンズスタッフ、ブックスタートなどのボランティアが活動しており、各団体と連携しながら読書活動を進めている。 ■ゆいの森では2階コミュニティラウンジにボランティア活動やボランティア登録団体用のロッカーなどを設置しボランティア活動支援をしている。 ■原画展、作家や編集者等による講演会など、イベントを開催した際に、地元の書店組合が書籍を販売。販売はイベント開催時のみ実施し、日常的に行っていない。文字活字文化振興のため図書館と書店が実施しているため、書店側から使用料は徴取していない。	■図書館関連団体(令和3年度) ①児童奉仕訪問サービス ②鎌倉朗読・録音奉仕会 ③鎌倉市点訳赤十字奉仕団 ④図書館ともだち・鎌倉 ⑤PCの会「湘南・鎌倉生涯現役の会」部会 ⑥鎌倉アカデミアを伝える会 ⑦郷土資料を読む会 ⑧縄古文書の会 ⑨鎌倉の別荘時代研究会 ⑩PO「かまくら女性史の会」
31	課題	多くの方が来館されることや開館の時には想定していなかった課題が出てくることはありますが、課題が出てきた都度、運用の見直しや改善策を検討するなどしています。例えば、人が多い時には席に座れないとのことが多く寄せられたことから、グループ研究室や個人研究室の運用見直しや新たに社会人席を設けるなどし、改善を図りました。	■図書館協議会、友の会 はなし ■障害者サービスは整えているが利用者が少ない ■随所に工夫の余地がある ■開館時間が長いので人数が薄くなる	■施設の老朽化 ■閲覧席の不足 ■資料費の伸び悩み